

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連  (四国)	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・天候にも恵まれ、ゴールデンウィークは多くの人出があり、月を通してにぎわった。一部の高級品に好調な動きがみられるが、一般的には消費マインドの高まりほどは実態が追い付いていない。	
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・個人消費が右肩上がりになるには可処分所得の増加が最も有効である。アベノミクスが消費マインドを刺激しつつあるので株式市場の動向を注視したい。	
		百貨店（総務担 当）	販売量の動き	・絵画や時計など高額商品の売行きが良好である。	
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・来客数や売上は、あまり上向いていないが、高額商品が売れ始めており、景気は良くなってきていると感じる。	
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・4月ごろの低迷から少しは脱しているのかもしれないが、野菜の単価安などによって、今一つ実感がない。	
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・売上は微増している。ただし、ポイントカードやクーポンを利用するなど消費者の節約志向は続いており、メリハリが鮮明である。	
		コンビニ（商品 担当）	販売量の動き	・客単価は若干下がっているが、販売数量が増加しており、トータルではプラスである。	
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・これまでは来客数が前年並みでも購入客数は前年を下回る事が多かったが、最近では購入客数が増えている。	
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・宿泊客も宴会等の客も増えてきた。客が、お金を使おうかなという傾向が少しずつ見えてきた。	
		旅行代理店（支 店長）	お客様の様子	・景気回復への期待感から、旅行を検討している客が増えている。	
		通信会社（企 画）	お客様の様子	・引き続き、高額商品やオプションの引き合いが増えている。	
		ゴルフ場（従 業員）	来客数の動き	・来場者数が前年より増えており、来月の予約状況も前年より増えている。3か月前と比べても来場者数が伸び、景気が上向いてきていると感じる。	
		設計事務所（所 長）	販売量の動き	・高齢者向け住宅の設計依頼が増えてきた。	
		変わらない	一般小売店〔生 花〕（経営者）	販売量の動き	・母の日関連商品は好調で前年より注文件数が多かった。しかし月の後半になると人通りも少なく、単価が安い商品の販売中心で、動きが悪かった。
			スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・生活必需品に関しては以前より生活防衛意識が高まっていると感じる。
			スーパー（企画 担当）	単価の動き	・小麦やマヨネーズなど、メーカーが値上げを発表した商品の前倒し需要が出てきている。来客数は前年並みであるが、購入単価がやや上昇した。
			スーパー（財務 担当）	来客数の動き	・消費マインドは株価の動きに左右されるが、円安によるマイナス面の影響が出ている。消費税増税や電気料金の値上げも予定されており、消費が上向く環境は整っていない。
			コンビニ（総 務）	単価の動き	・客単価は3か月前と変わっておらず、個人消費は依然厳しい。
			衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークに期待していたが、前年より少し売上が減った。平日に好調な日もあったが、ゴールデンウィーク中の減収分を補えなかった。
			家電量販店（店 長）	販売量の動き	・来客数の伸びは前年を下回っている。
			乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・消費税増税に関する意識はまだ感じられない。
			乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・4月以降の販売は前年を下回っている。目玉車がない事もあり、販売は落ち込んでいる。客から消費税増税の話も出てきており、販売が難しい状況が続いている。
		スナック（経 営者）	来客数の動き	・歓送迎会シーズンであった前月の反動に加え、大型連休の影響を今年も受けた。	
		都市型ホテル （経営者）	単価の動き	・アベノミクスと言われているが、地方には全く関係ない状況である。客単価は低いところでとどまっている。宿泊客も好況感を持って来ているわけではない。	

	タクシー運転手	お客様の様子	・1年を通して2月と5月はタクシー業界の売上の低い月なので変わらないと感じる。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・常連客は定期的に来店しているが、新規の客は少ない。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・夏物の出足もまずまず良く、ゴールデンウィークは十分にぎわったが、母の日以降は通行量、来街客とも大きく減っている。	
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・大型店やネット販売を利用する消費者が多く、小規模な小売店は厳しい。	
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・消費者はまず高級品や株式の購入にお金を使い、続いて生活必需品を購入し、書籍は一番後回しという雰囲気を感じられる。	
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・登録車ベースで前年同月比91%と春の最需要期を過ぎて盛り上がりにかけている。競合他社から6月に新型軽自動車が発売予定となっているため、その車を見てからといった商談が多く、なかなか成約に至らない。	
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・5月の売上は前年を割っている。ただ後半になって予想していた以上に登録数が増えており、景気は底堅く感じる。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・お遍路の仕事が今年の半分ぐらいしかなく、街に人が少ないことに加え、長距離利用の乗客も少ないので売上は良くない。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの売上は曜日の並びも影響し、前年比11.4%減であった。5月全体の売上は前年比12.9%増となっているが、前年は今年に比べて開催日数が8日間少なかったことを考えると、実質は売上減少になった。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数、客単価共に低水準で推移している。	
	悪くなっている			
企業動向関連 (四国)	良く なっている	食料品製造業（商品統括）	それ以外 ・前向きな投資の検討が進められている。	
	やや良くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・取引先からの経常的な受注量は低調であるが、スポットでの受注が増加している。しかし受注価格は低下傾向にある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・円安により、北米に加えて中東での大口商談が増え始めた。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光や機械設備、電気設備とも受注は好調で引き合いも多い。これから先は予想できないが、今のところ潤っている。
		通信業（部長）	取引先の様子	・昨年同時期と比較して受注数は若干増加傾向である。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・株価上昇により消費者心理が改善している。近隣の新築マンションの売行きも順調で、完成前に完売した。富裕層以外の層にも景気が上向いている感覚がある。
		不動産業（経営者） 公認会計士	受注価格や販売価格の動き 取引先の様子	・東京や大阪の業者から、多くの問い合わせや物件探しの依頼がある。以前にはなかった兆候である。 ・前年と比べて赤字の関与先が減っている。若干、景気は回復しつつあると感じる。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・商品によってばらつきはあるものの、流通量が多いため市況は軟調である。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・大幅な円安によって原材料等の輸入価格が上昇し、コストが増大している。そのため値引き交渉を行っているが、なかなか受け入れられてもらえない。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・公共事業費が増えたことから発注量も増え、一見良くなっているが、仕事は本格的に稼働していない。地域や業種によって偏りがあり景況感はまだまだ良くない。
建設業（経営者）		受注量や販売量の動き	・公共事業は増えてきているが、まだ足りない。	
輸送業（経営者）		取引先の様子	・会社としての好況感の実感はない。株価が乱高下していることが怖い。	
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内の落ち込みは想定範囲内だが、輸出が想定より落ち込んでいる。	

		輸送業（営業）	取引先の様子	・荷主の要請で集荷時間を遅くしたことが大きな負担になっている。また、荷主の再編が加速しており、低コスト輸送業者へのシフト等も起きている。燃料価格上昇が経営を圧迫している。
	悪く なっている			
雇用 関連	良く なっている			
(四国)	やや良く なっている	人材派遣会社 （営業担当）	周辺企業の様子	・株価上昇などにより大企業だけでなく中小企業にも恩恵が少しずつ浸透してきていると感じる。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・引き続き県内企業の求人数は増えている。これまで採用を控えていた中小企業が中途採用するなどの動きも見られるが、まだ様子見の企業の方が多い。
	変わらない	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規常用求職者のうち無業者が平成24年5月以降、11か月連続で減少している。求職申込を行った人のうち、希望する仕事がない、企業が求める知識や能力に自信がないなどの理由から一旦、求職活動を断念していることが要因となっている。ただ在職者、退職者についても新規求職者は減少している。
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・アベノミクスで景気浮揚が期待されているが、企業が採用人数を増やす動きはまだ見られない。大半の企業が景気上昇を体感出来るまで、様子見といったところか。
	やや悪く なっている	人材派遣会社 （営業担当）	採用者数の動き	・求人数が減っており、景気が良いとは思えない。
		職業安定所（職員）	それ以外	・4月の月間有効求人倍率は0.80倍で、3か月前と比較して0.13ポイント低下している。
	悪く なっている	-	-	-